

## 【令和2年度 北海道大学総合博物館活動報告】

活動実施団体名 北海道大学総合博物館  
責任者氏名 教授 大原昌宏  
報告書作成者 研究支援推進員 植松淳子

### 1. 活動の名称：

北海道大学総合博物館主催 公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団  
財団設立40周年記念事業  
パラタクソノミスト養成講座・昆虫（初級）

講師：大原 昌宏

### 2. 実施日：2020年9月19日（土）～20日（日）

### 3. 実施場所：北海道大学総合博物館

### 4. 1日目

10：00～12：00

- ・資料を見ながらの座学
- ・昆虫の進化の過程で変わっていった体の作りや機能の変化を学ぶ

13：00～15：30

- ・博物館周辺で昆虫採集 10目の昆虫を採集する

15：50～16：00

- ・博物館に戻り、捕獲網を返却
- ・捕獲できた昆虫の分類

### 2日目

標本づくり

- ・各自が採集してきたチョウやトンボ、その他多様な昆虫類を展翅板や展足板に固定
- ・土壌昆虫を顕微鏡で観察
- ・実体顕微鏡で拡大して細かな体の作りを観察  
(希望者には自作の標本を返却)

### 5. 対象：小学4年生以上 参加人数：8名

### 6. 小学4, 5, 6年生の参加者（3名）もいましたが、一生懸命に先生の講義を聴いていました。

昆虫採集では、先生から捕虫網を左右にゆったり動かすスウィーピング法という捕獲方法を教えて頂き、何もいない様に見える草むらでも何匹もの小さな昆虫が採集でき、参加者は驚いた様子でした。初めて使う毒瓶・吸虫管・三角紙などに興奮しながらの採集でみなさん満足そうでした。

標本作製では、自分が採集した昆虫を実体顕微鏡で拡大して細かな体の作りを観察することで、今まではっきりと見たことがなかった小さな昆虫の体の模様や作りに、新しい魅力を見つけられたように思われました。

## 7. 活動写真

